

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



苦しくたって…

第40回

塩屋湾一周トリムマラソン大会



みんなの声援を力にゴール!



4月15日（日）、第40回塩屋湾一周トリムマラソン大会が開催されました。

今大会には16.7kmに201名、9kmに213名、3kmに524名、計938名の申込みがありました。

今年は40回の記念大会ということで、9kmコースに北山高校の陸上部が招待選手として出場してくれ、またスターターとしてタレントのエハラマサヨシさん会場に訪れ、開会式前にモノマネを交えた挨拶で、今にも降り出しそうな空模様の肌寒い会場を温めてくれました。

暑すぎることなく、ランナーにとっては走りやすいコンディションでスタートした今大会。途中で降りだした雨に負けることなく、767名（16.7km174名、9km183名、3km410名）が完走をしました。村内からは3kmコースを走った大宜味小4年生の福地楽偉門くんが競走の部で1位に、3kmコースチーム de トリムに参加した大宜味結 Guts ファインプレーズが1位に、大宜味結 Guts レフティーズが3位に輝き大会に花を添えてくれました。





平成 30 年度 大宜味村立幼稚園・小学校・中学校 教育委員・教育委員会職員

教育委員会



社会教育係長 前田佳政さん



課長 宮城豊さん



社会教育係 吉田弥生さん



学校教育係 津波愛佳さん

教育委員



山上晶子さん（喜如嘉校区）

大宜味幼稚園



でいご組 平良望

知れば知るほど面白いインターネットの世界 ぶながやの里生涯学習講座インターネットを活用しよう！（紹介編）



4月24日（火）、役場第2会議室において平成30年度ぶながやの里生涯学習講座「インターネットを活用しよう！（紹介編）」を開催しました。

今回、前田悠嗣さん（喜如嘉、生涯学習インストラクター1級）、藤田元也さん（教育委員会村史編さん係）が講師を務め、インターネットでできるショッピングやオークションニュースや天気、地図の見方から、YouTubeの見方などをわかりやすく紹介。

また、インターネットに繋げるために必要な契約方法の紹介や、村で使用されている大宜味BBと携帯電話の電波を使ったインターネットのプロバイダ（WIMAX）のインターネット回線の比較なども教えてもらいました。

紹介が終わった後は、実際に自分たちのパソコンをインターネットに繋いで（今回はWimaxを使用）、自分の興味のあるサイトを検索したり、YouTubeを見たり思い思いに楽しみ、わからないことはその場で聞き、ゆんたくしながら、講師の体験を聞きながら疑問や不安を解決していきました。

実際に触れてみることで、参加者それぞれが自分のやりたいことが見え、次回の挑戦に繋がられる講座となりました。



大宜味中学校



特別支援 吉本雄貴先生



1年担任 宮城有理先生



教頭 永野正也先生



用務員 宮城さゆみさん



特別支援 有島りさ先生



2年担任 島田政也

大宜味っ子たちと共に学校生活を楽しく、学び、支えてくれる学校職員、教育委員、教育委員会の新しいメンバーを紹介します。日々の生活や運動会、学芸会、村の行事などを盛り上げるため、励んでくれることを期待しています。



学習支援 前田琴美先生



地域支援 瑞慶山涼子先生

大宜味小学校



5年担任 安仁屋宗平先生



校長 上間享先生



教頭 屋宜健先生



用務員 宮城留美子さん



図書司書 山城加奈子先生



2年担任 伊藝香織先生

4月11日 大宜味幼稚園入園式



- ◆でいご組 5歳児 男子12名、女子4名 計16名◆
 渡嘉敷海 平良千風 宮城重大 前田菜雪 宮城珠依 新城七翔
 新垣 翔 新垣 悠 前田頼季 金城晴人 松本永琉 真喜志寧音
 大城李才 眞喜志陸杜 大嶺松士 屋我伸浩
- ◆ゆうな組 4歳児 男子7名、女子4名 計11名◆
 高橋直己 大城莉珠 神里彩実 宮里歩侍 宮城笠夢 中村心美
 宮城莉杏奈 奥原來優 後藤夕騎 小谷穂一 當山翔愛



4月11（水）、大宜味幼稚園において平成30年度大宜味幼稚園入園式が行われました。

恥ずかしがりながらも堂々とした足取りで入場してきた27名の幼稚園生。今年は1人も泣く子がなく、ゆうな組担任の成子先生もびくり！政信園長先生から「幼稚園は遊んでいろいろな力をつけるところです。明日、何して遊ぼうかな～と自分で考えながら幼稚園に来て下さい。」とお話があり、元気いっぱいの幼稚園は大きな声でお返事をしていました。たくさん遊んでお友達をたくさん作って楽しい幼稚園生活を送ってください。



4月10日 大宜味小学校入学式

- 平良太誠 大湾 光 嘉陽宗秋 吉田芽生 平良瑠子 宮城あん
 福地洸楽 平良透海 宮城咲結 城間楽来 宮里歩武 高良凌平
 宮城わら 前田泰那 川上 鐘 古我知星絆 宮城航大 金城紗奏
 東恩納颯人 金城希咲 金城榎己 平良玲旺斗 當山耀希 濱元大晴
 奥原瑠輝 相川 紬 男子14名、女子12名 計26名

4月10日（火）、平成30年度大宜味小学校入学式が行われました。ピカピカのランドセルを背負い6年生、5年生のお兄さんお姉さんとともに元気いっぱい入場してきた1年生。どの顔も自信に満ち溢れ頼もしい小学生に変身していました。

児童を代表して6年生の宮城はちさんは「1年生が来ることをみんなとても楽しみにしていた。これから遠足やレク、給食など児童みんなで取り組む活動がある。一緒に楽しい学校にしていこう！」と歓迎のあいさつで1年生を迎え入れました。

楽しいことだらけの小学校生活。元気いっぱい頑張ってください。



4月9日（月）、平成30年度大宜味中学校入学式が行われました。小学校の時と同じなのにいつもとは違う雰囲気漂う体育館に入場してきた1年生。真新しい制服はぶかぶかでまだまだあどけない表情の19名を優しい先輩や先生方に迎え入れてくれました。

新入生を代表し大城優音さんは「楽しみと不安が半分半分の気持ち。中学校では勉強も難しくなると聞いたので頑張りたい。3年間の中学校生活を悔いのないよう、部活や勉強など19名の大事な仲間とともに協力し合って頑張りたい。」とあいさつしました。

中学校生活では楽しいことも大変なこともたくさんあると思いますが、それは今しかできないことです。たくさん学んでたくさん悩んでたくさん笑って素晴らしい時間を過ごしてください。



4月9日 大宜味中学校入学式

- 照屋舜人 平良真聖 川村 波 安里満帆 上原 蓬
 崎山ひなた 大城優音 石垣希里斗 玉城清菜 川上 鈴
 島袋鈴菜 島袋愛埜 宮本大雅 真栄田楓夏 高江洲愛
 玉城結衣 仲原望愛 新垣飛龍 島袋楓磨

男子7名、女子12名 計19名



今ここに新たな風が吹く。共に学び共に築く。進め大中文化。無限の可能性を拓き、進め生徒。

深読み大宜味村史 15 大保 1967年8月25日 后4時

大宜味村史は昭和42（1967）年に村史編集委員会が発足し、委員長宮里金次郎、委員に山川元康、大山茂一、宮城福市、親川富二、宮城倉栄、宮城倉啓、大嶺福一、大城真秀、編集担当として山川岩美（編集責任者）、金城功、宮城長信、大城将保、平良幸七（写真）の諸先輩方によって編まれ、12年の歳月をかけて昭和53（1978）年に資料編、同54（1979）年に通史が発刊されている。

通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料をめぐってみると、本文では削られた部分がほとんどであるが、興味深いものが沢山あり、順次紹介している。なお、当時の言い回しや仮名づかいに味わいがあるので、出来るだけ原文通りを心がけ、判読不能の文字は□に置き換え、必要に応じて（）内に補足を加えた。また、年代、年令などは1967年当時の表記であることにご留意願いたい。

出席者 上地安牛、真喜志康兼、照屋林豊、真喜志康専

部落の発生 那覇泊より来たる島我那覇からムラが初まる

今に残っている井戸、クバがある場所が我那覇屋敷と言はれ出産、旅立ちの祈願する場所である

真喜志康蕃 製塩を初めるという 上地 木綿花栽培 藍造りのために来たという

崎山一那覇久米村より来たる（秀姓） 具志堅一平民か 饒波か屋古前田より来たる

照屋、平良一那覇より来たる 金城一喜如嘉より来たる

製塩 塩炊きして居った塩田は村有地で貸地料支払って居った。国頭宜名真辺りまで売却に出かけた。

くり舟で世論より往復。ムシロ、粃、カラス小等と交換。賣りに行ったり買いに来たりした

盛升1升4銭 真喜志 1鍋1斗2升の塩がとれた。后（あと）から板鍋になり四角鍋になってから2斗

専賣制で税務署が管理する様になってからは大変うるさくなった 罰金10円された

タバコ等は（税務署が）望遠鏡で調べて居った 明治45年頃に製塩は止めた

かたかしら（士族の証である結髪） 13才になると髪を結び御祝いした

塩屋のニーサー等は寄（より）アクタ（浜によるゴミ）とってあざけて居った

コレラ 73年前コレラにかかって辻で死亡した者を4日間かかって大宜味へ運んだ

土地配当 断髪したら土地をやるといわれたが断髪させなかった。それで土地配当もなかった

58年前、塩屋から押し寄せて来て多くの者は断髪された。老人たちは士族の誇りを守り昭和10年頃

までチョンマゲ（かたかしら）であった。僕の兵隊検査はチョンマゲでやった（79才）

田港から独立 大正10年頃行政分離した 初代区長 金城和豊

入林許可証 伐木の許可証。官有林のケサジ（原名）や平良の官有林まで行って木を伐り出した

山係（林野巡守という当時の官職）2、3人巡視

許可ない者は山刀を取り上げられた。罰金は50銭位。月に50銭支払うならと入林許可証をとるようになった。

許可証は1回で30銭、2回は許可されなかった

村船（山原船） 今から69年位前那覇まで往復して商売をしていた 株で作った（お金を出し合って運営）

8反帆の山原船であった。1航海5円位もうかったが船員がもうかる分はみんな飲み食いして失敗した。

（※ここでいう村船とは大宜味村（そん）の船ではなく大保村（むら）の船のことと思われる。当時は資金を出し合って組合で大きな事業をすることがよく行なわれた）

製糖 最初は明治40年頃、牛車のサーターヤー（製糖所）がイクサン崎にあった。后（あと）で部落外れに場

所を移り、現在1番地の屋敷で昭和5年頃まで続いた

個人では10丁（挺ともいい砂糖樽の単位・一挺136斤、82kg）位が多かった。

平良（屋号）が多かった。部落全部で160丁位。

委託会社が（値が）上がる上るといって待たせておいて急にぐっと下がって失敗した（大正9年糖価暴落）

一丁40円まで上がったものが後は14円まで下がった

糸満売り 糖価の暴落により、借金を抱えた多くの家から糸満売りが頻発した 約20人位



村史編さんだより

第85号 2018年5月1日 大宜味村村史編纂係44-3009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

平成30年度の動き

『言語編』の編集及び発刊

『人と自然編』の調査及び資料収集 など

平成29年度に専門部会が発足した『言語編』においては、各字の協力により各800語以上（15字^{あざ}）もの語彙について調査を行いました。今年度から始動する『人と自然編』においても、私達の暮らしと自然との関わりなどについて、各字での調査が重要なカギとなります。引き続き皆様のお力をお貸しください。

また、企画展や字誌講座の開催なども視野に入れて作業を進めると共に、皆さまからの情報により、古文書や祭祀・伝統行事等に関する調査も随時行っておりますので、古い写真や文書、祭祀道具などがありましたら、44-3009までぜひご一報ください。

なお、今年度、村史編さん係は長年住み慣れた!?旧庁舎に別れを告げ、旧大宜味小学校図書室に移動になります。“旧庁舎といえば村史、村史といえば旧庁舎”ということで、長年、村民の皆様にも親しんでいただきました。引越しに伴う歴大な史資料の移動・整理を考えると気が遠くなりますが、5月中旬頃には移動を完了して、出来るだけ早く、村民の皆様遊びに来てもらえるよう整備をしていく予定ですので、ご理解の程よろしくお願ひします。



～大宜味村史「民俗編」販売のお知らせ～

3月に発刊された『民俗編』の販売が決定しました！

817頁・4000円で販売します！購入ご希望の方は、村史編さん係（44-3009）までお越し下さい。

村外・県外にお住まいで直接買いに来られない場合は、郵送での発送も承っておりますので、お問い合わせ下さい。

（※大宜味村役場のホームページにも本の紹介や購入申込書を掲載しています。）

●販売中の書籍一覧

書籍名	頁数	発刊	販売価格
わーけーシマの宝物	101	平成26年3月	1000円
戦争証言集 渡し番	289	平成27年3月	※お問合せ下さい
シマジマ本編	373	平成28年3月	3000円
移民・出稼ぎ編	442	平成29年3月	3000円
民俗編	817	平成30年3月	4000円

お知らせ

5月6日（日） 場所：田嘉里公民館周辺で

グラの郷 田嘉里むん市 が開催されます！

グラ（たけのこ）の販売、地元生産物の販売、各種展示などが行われます。村史編さん係も、資料展示に参加協力しています！遊びに来てください♪♪





「しまふとうば」ぬくとう 27



うみがーみー

最近、県内で“はしか（しまふとうばで いりがさー）”発生・流行し、学級閉鎖や行事の中止、旅行者のキャンセル等、社会的な問題になっている。はしかや風邪、インフルエンザ等色々な病気の原因は細菌やウイルス、微生物等によるものが多い。

今回の“はしか”の件で手元においてある好きな本を思い出した。“はしか”の流行は人間にとって大きな問題であるが、病原のウイルスにとっては空気感染によって種の保存と仲間を増やすチャンスだというようなことが書かれている。その本はタイトルからして興味深い。書名は「迷惑な進化—病気の遺伝子はどこから来たのか」（シャロン・モアレム、ジョナサン・プリンス著、矢野真千子訳、日本放送出版協会発行）その本中第5章・僕たちはウイルスにあやつられている？の一部を紹介しよう。「たいていの人は“くしゃみ”を症状だと思っている。しかし、そうともかぎらないという話をこれからしてみたい。ふつうのくしゃみというのは、鼻から入ってきた異物をそれ以上奥に入れないようはじき飛ばすという、生まれつき体にそなわった防御機能だ。しかし、風邪をひいたときに出るくしゃみはどうだろう？上気道の粘膜細胞にすでに入り込んでしまった風邪のウイルスは、くしゃみぐらいで追い出せるはずがない。この場合のくしゃみはまったく別の意味をもつ。風邪のウイルスは人間のくしゃみ反射をどうすれば引き出せるかを学習し、それを利用してウイルスをあなたの家族や同僚、友人たちに広めようとしているのだ。そう、くしゃみは確かに症状だが、風邪をひいたときに出るくしゃみはあなたをまもるためではなく、ウイルスの利益のための反応だ。僕たちは感染症にかかったときに出るさまざまな反応を症状だと思っているが、それは人間に取りついた細菌やウイルスが、次の宿主に乗り移るための手助けをするよう宿主操作をした結果かもしれない。」というのである。確かにそうかも知れない。人間は腸内細菌の働き方によってその人の体調に変化が現れるとよく言われる。まさに「人間はウイルスにあやつられている？」

しまふとうばでは くしゃみ → さっかび せき → さふい



今月の生きもの



オオゴマダラ：マダラチョウ科

春ですね～。ってもう、夏!?

みなさん、こんにちは。私オオゴマダラです。日本で一番大きいチョウなの。白と黒色の模様でゆったり飛ぶ姿は優雅で他のチョウと比べて目を引くはず。私たちの蛹も金色に輝いていてうっとりしちゃう…。昨年、沖縄の自然保護や生物多様性のシンボルとしての「県蝶（ちょう）」制定を目指し開催された「はーべーる総選挙」でオオゴマダラが1位に輝きました。近いうちに「県の蝶」としてみんなに紹介されちゃうかも…。

5月の行事予定

- 1日（火）区長会
- 3日（木）憲法記念日
- 4日（金）みどりの日
- 5日（土）こどもの日
- 10日（木）春の遠足（喜保）
- 11日（金）春の遠足（塩保）
- 大小・大中 PTSA 総会
- 12日（土）わんぱく体験団①

- 13日（日）村体協野球大会①
- 15日（火）沖縄本土復帰記念日
- 16日（水）「体験の翼」募集開始 ～ 6/8
- 19日（土）辺土名地区ミニバスケットボール交歓会
- 20日（日）村体協野球大会②
- 23日（水）村学力向上推進委員会総会
- 24日（木）定例教育委員会会議
- 26日（土）やんばる駅伝競走伊江島大会 ～ 27日
- 30日（水）大宜味村チャレンジデー 各種団体 GG 大会

5月28日



花火の日

やってきました大型連休♪(あじま〜がみなさんの手に届く頃には終わっているかもしれないけど)、どこに行こうか、何をしようかウキウキします。そして連休が終わればジメジメの梅雨…。恵みの雨とはわかっていてもやっぱり好きになれない…。